

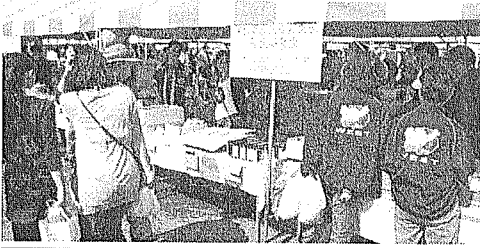
大ト協ふれあいフェスタ開く

【大阪】大ト協は16日、吹田市の万博記念公園でトラックの日の事業として、「ふれあいトラックフェスタ2011」を開催。開会式で坂本克己会長(大阪運輸倉庫)は「必要なモノを、必要なときに、必要な場所に届けられるのが、トラックだ」と今日をきっかけに地域の皆様に理解していただきたいと訴え、「家族や仲間と良い日を過ごしていただ

き、大ト協が、より一層の団結と協調が図れるようにしていく」とあいさつした。

会場では、被災地を応援しようとして大ト協(12支部協賛)と大ト青協連が東北地域の商品を扱った物産展を実施。各支部によるフリーマーケットなどをはじめ、キャラクターショーや交通安全体験コーナー、低公害車の展示、白バイ試乗体験など様々なブースが設けられた。

のサノフィ・アベンティスと協力して、花粉症や皮膚のかゆみなどで使われている抗ヒスタミン薬による本人が自覚しにくい集中力や判断力、作業能力が低下するインペアド・パフォーマンスについて参加者らに説明し、自動車の運転操作に影響することを呼びかけた。(山田克明)



大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構(OCHIS)は「健康イベントコーナー」を設置し、睡眠時無呼吸症候群(SAS)などについての解説をはじめ、血圧測定や健康グッズを販売した。また、大手製薬会社

